

中3生は全員、県立高校入試前日まで開倫塾を最大活用し、希望校合格・入学を実現しよう
—開倫塾で県立高校入試前日まで「ハードな長時間自己学習」の実施を—

開倫塾
塾長 林 明夫

Q：中学3年生は県立高校入試までどのように受験勉強をしたらよいのですか。

A：(1)開倫塾の中学3年生の塾生の皆様は、全員、県立高校入試前日まで、開倫塾のすべてのプログラムに参加することが第一です。開倫塾の先生方の指導に従い、県立高校入試前日まで、開倫塾でしっかりと受験勉強をしてください。



(2)開倫塾では、3学期に入ってから、県立高校入試前日まで「平常授業」に加え「土曜ゼミナール(土ゼミ)」と「日曜ゼミナール(日ゼミ)」、さらには「県立高校直前特訓(直特)」と、ほぼ毎日のように入試直結の教育プログラムを創業37年間の受験指導の経験を踏まえて準備しています。

(3)冬休み中に行われた「冬期講習会」「正月特訓」から引き続き行われる「3学期の平常授業」「土ゼミ」「日ゼミ」「直前特訓」など一連のすべての教育プログラムは、塾生の希望校合格、とりわけ県立高校合格を実現するために開倫塾が37年かけて練り上げたプログラムです。

(4)すべて関連していますので、県立高校入試直前まで開倫塾のすべての教育プログラムに積極的に参加し、開倫塾の先生方の受験指導を直接受けてください。

(5)医師から処方された薬はすべて服用するのと同じように、開倫塾の中学3年生の塾生の皆様は、県立高校入試直前まで開倫塾の準備したすべての教育プログラムに参加し、十分な学力を身に付けて希望校合格・入学を果たしてください。

Q：2月中に入学が決まった場合も、県立高校入試を受験する皆様と一緒に勉強したほうがよいのですか。

A：(1)その通りです。高校1年生の学力は、高校入試の勉強にどれだけ真剣に打ち込んだかで決まるからです。2月と3月初旬の県立高校入試合格に向けての受験勉強は、一生のうちでこんなに真剣に勉強することはないと言われるほど熱心に、また、長時間行われます。

(2)2月初めに合格が決まったからといって遊び呆(ほ)けていると、県立高校入試の直前1か月に猛勉強している受験生との学力差が大きくなり、入学式を迎えることになります。

(3)自分は合格したのだからもう勉強しなくてもよいなどと考えずに、県立高校入試直前まで開倫塾のすべてのプログラムに参加してしっかりと勉強してください。

Q：よくわかりました。ところで、「ハードな長時間自己学習」とは何ですか。

A：(1)中学3年生の受験勉強として大切なことは、県立高校入試直前まで、「平常授業」「土ゼミ」「日ゼミ」「直前特訓」の開倫塾のすべての教育プログラムに積極的に参加して、開倫塾の先生方の受験指導を受けることに加え、

(2)一度学習したすべてのことをさらに「理解」し、「定着」させ、「応用力」を身に付けるために、熱心に、集中して、長い時間をかけて自分自身で学習すること(ハードな長時間自己学

習)が必要だということです。

- (3) 県立高校入試は、中学校3年間に学んだ内容のすべてを正確に「理解」し、スミからスミまで一つ残らず正確に身に着け(「定着」させ)、それらが様々な形で出題されても正確に答えられる「応用力」が身に着いてはじめて合格することができます。
- (4) 開倫塾で3学期に行う「平常授業」「土ゼミ」「日ゼミ」「直前特訓」も、そのために周到に用意されたものです。これらの内容の中で不確かなところだけでも、開倫塾の授業終了後にもう一度やり直すことで、受験に必要な基本的な知識が確実に身に着き、全教科の得点力が大幅に上昇します。
- (5) 応用問題も、よくできなかつたところを中心に2回、3回とやり直すことで、驚くほどよくできるようになります。
- (6) これらを確実に実行するには、「ハードな」厳しい、「長時間の」長い時間をかけた、「自己学習」自分自身で行う学習が欠かせません。
- (7) スマホ片手にラインをしながらでは、絶対に受験勉強は進みません。「一心不乱」「一所懸命」一つの所で命を懸けるくらいの熱心が求められます。
- (8) 受験勉強は、短い時間では終わりません。「長時間」「眠る時間以外は机に向かう」態度が求められます。
- (9) 開倫塾の授業中は別として、受験勉強は原則一人で行うものです。「自己責任」「自助努力」「自分の未来は自分で切り開く」「あきらめたらおしまい」。これが受験勉強の本質です。

Q：どこで「ハードな長時間自己学習」を行ったらよいのですか。

A：(1) 開倫塾の校舎がオープンしている間は、開倫塾の先生方と保護者の許可を得た上で、空いている机や椅子を利用して行ってください。

(2) ただし、おしゃべりやケータイ・スマホ、飲食は絶対に禁止です。

(3) 水や食べ物は、机の上に出さずいつもカバンの中に入れておくこと。ゴミはすべて持ち帰ること。

(4) 使用した机や椅子、教室はきれいに整え、掃除してから帰宅すること。

(5) 夜10時30分以降は、絶対に居残らないこと。

* 以上のルールを守れば、「ハードな長時間自己学習」は週に何時間でも何十時間でも OK です。



Q：最後に一言どうぞ。

A：(1) この「ハードな長時間自己学習」の中に「辞書」と「読書」と「新聞」も必ず入れて、どんなに長い出題にも耐えられる「読解力」を身に着けてください。

(2) 受験直前の勉強こそ、「辞書」を活用して「語彙力(ことばの数)」を増加させ、「読書」により「思慮深さ」を身に着け、「新聞」により「自分で考える力」「批判的思考(クリティカルシンキング)能力」を身に着けてください。

(3) 入学試験前日、入学試験当日も「辞書」と「読書」と「新聞」の活用に励んでください。「読解力なくして希望校の突破なし」です。

(4) セミナー塾生は必要な場合は個別指導の併用を、個別指導塾生はセミナーの併用をたとえ短期間であっても積極的に行って、合格を勝ち取ってください。

2017年1月14日(土)

2017年大学入試センター試験第一日

(宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授)